

Photo Yaotsu



「水源の森づくり」活動を実施

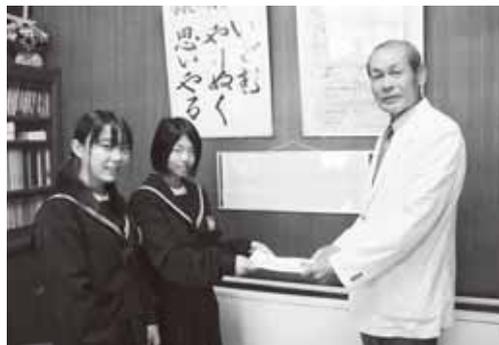
キリンビール(株)名古屋工場社員や家族ら約60名、アピタ・ピアゴのキャンペーン当選者40名、町内ボランティアのみなさん、町職員ら約110名の合計約210名が「キリン水源の森」で下刈り、桜の間伐作業を行いました。

この活動は、同社の森林保全を目的とした社会貢献活動の一環で、「キリン木曽川水源の森づくり協定」に基づくものです。これまでにサクラ・モミジなどの苗木約6,000本を植樹しており、この作業で、若木が育ちやすいよう環境を整え、健全な森づくりのための育林支援活動として行いました。

当日は、10班に分かれ、地元の森林組合、林業家の方々の助言を受けながら桜の間伐し、間伐した桜でスプーンとフォークを作り、森の恵み・大切さを学びました。



桜の木の間伐する参加者



収益金を手渡す生徒会代表ら



八百津中学校アルミ缶回収収益金を寄付

八百津中学校の生徒会が、持ち寄って集めたアルミ缶の収益金5,400円を、八百津町社会福祉協議会へ寄付しました。

全校が協力してできるボランティアとして、一昨年から町社会福祉協議会へアルミ缶回収の収益金を寄付しています。

寄付した5,400円は、1学期から毎月2回、各学級の生活委員が中心となり集めたアルミ缶5,294個(約90kg)の収益金です。



手作り竹ぼうきを寄贈

和知在住の後藤康夫さんが、手作りの竹ぼうき100本を教育委員会や町内の小中学校7校に寄贈しました。

竹ぼうきの作製は、1年前から自宅周辺や近隣市町村から竹を集め、乾燥させた後、そろえた竹の枝を針金で縛り付けるなどして、1日に10～15本ずつ仕上げられたそうです。

後藤さんは、毎年この時期に竹ぼうきを贈り続け、今回で24回目となりました。



手作り竹ぼうきを寄贈した後藤康夫さん



収益金を寄付する岩井政之会長(中央右)と長谷川泰幸さん



やおつゴルフ同好会から寄付をいただきました

やおつゴルフ同好会の岩井政之会長と長谷川泰幸さんが役場を訪れ、10月17日にむらさき野コントリークラブで開催された、町民ゴルフ大会(主催:やおつゴルフ同好会)でのチャリティ収益金62,202円を「八百津町福祉センターや子育て支援など、将来ある子ども達のために役立ててほしい。」と寄付していただきました。